



集英社インターナショナル

集英社インターナショナル ニュースリリース

2010/04/14

日本初の本格的ネット 立ち読みサービス開始！

集英社の関連会社で、書籍出版を手がける「集英社インターナショナル」では、リアル書店とネットユーザーとを結びつけるための新機軸として「本格的ウェブ立ち読み」サービス（仮称）の試みを本年4月下旬より開始します！

- 電子出版への移行は時代の趨勢。ネットユーザーは爆発的に増えています。
- しかしながら、一気に書籍の電子化が進行するわけではありません。
- その間に我々出版界が考えなければいけないのは、



「本が買いたいけれど、近くに書店がない」

「自由に使えるお金がないのだから、じっくり本を読んで選びたい」

という読者のみなさまへの要望にどう応えるかということです。

近年の出版界が直面している最大の問題は「リアル書店」の減少です。すでに日本においては20年以上にわたって、書店数は減り続けています。たしかに、Amazonをはじめとするネット書店の台頭によって書籍の流通チャンネルは刷新されたかのように見えます。

しかしながら、そこには大きな欠陥があります。

それは・・・

買いたい本があっても 事前に「立ち読み」ができない というハンディキャップです。

単行本の書籍は紙やインクなどの諸原料の高騰、いわゆる「出版不況」の影響による初刷数の削減などによって、その単価はほかの商品（牛丼など）に比べて、価格の低下がなかなか実現困難な商品です。

いかに本が好きな人でも1000円、2000円の本をネット上にある目次情報や宣伝文句、書評だけで気軽に買える人は限られています。書店の減少、出版部数の減少は「本が買いたいけれど、買えない」人をたくさん生み出しているのではないのでしょうか。

そこで私たちが提案するのは 思い切って書籍の3分の1、2分の1をネット上で フリー公開してしまおう、ということです。

従来にも、各版元、各ネット書店では「立ち読み」という試みがなかったわけではありません。しかし、それらはいずれも「わずか数ページ」というありさまで、これで1000円以上の買い物をしてくださいというのは、あまりにも大胆すぎはしないでしょうか。

またアマゾンでは全文公開している書籍もありますが、アクセスできるのはその全文に検索をかけた結果だけ。冒頭から順番に読めるわけではありません。

弊社の「本格的ウェブ立ち読み」サービス（仮称） は、そんなことはしません。

前書き、目次、そして冒頭の100ページは少なくとも、お客様のPCにダウンロードして、じっくり読める形で提供するものです。ファイル形式はpdf、ただし、印刷、コピーは不可。しかしながら、閲覧に期限制限はありませんし、お友達に渡していただけて構いません。買うか買わないかは、立ち読みして下さってからで構いません。

最終ページにネット書店へのリンク、そしてリアル書店への注文用紙がついていますので、お好きなほうを選んでご注文ください。

前例のない「本格的ウェブ立ち読み」サービス スタートは4月下旬より！

その第1弾は

尾崎弘之著 出世力

なぜ、あなたの「頑張り」が認められないのか
定価 1,575円（税込み）

弊社「出世力」特設ページ上からクリック&ダウンロードできます

<http://www.shueisha-int.co.jp>

<http://www.shueisha-int.co.jp/shusseryoku>（近日スタート）

なお、今後も弊社の新刊書、既刊書を
ネット立ち読みできる態勢を構築する所存です。

お楽しみに！

弊社「本格的ネット立ち読み」は業界初の試み。
どのような反響が帰ってくるかは未知数ですが
読書愛好家のみなさんのために
少しでもお役に立つことを願ってやみません。

詳しいお問い合わせは下記まで

集英社インターナショナル 出版部
〒101-8050 千代田区一ツ橋 2-5-10
<http://www.shueisha-int.co.jp>